

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部総務課		■担当係	統計係
■評価事業名称	交通量調査(市独自)			
■事業開始年度				
■評価事業コード	010200 - 431	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり		
	■基本施策	03 道路・情報ネットワークの充実		
	■施策	02 道路環境の整備		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	市内主要道路等の交通量を観測し、道路整備や都市計画の基礎資料を得る。北上市統計調査員協議会に業務を委託し、毎年7月第2金曜日の午前7時から午後7時まで、市内28地点で調査を実施。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	交通量調査(市独自)	関係機関、各種統計資料利用者	実施日:7月12日調査地点:28地点	実施日:7月12日調査地点:28地点

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	787	791	791	735	
人件費	1,502	1,985	2,075	1,601	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,289	2,776	2,866	2,336	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	実施回数	1	1	1	1	継続的に毎年実施することで、時系列の比較が可能となっている。
02	調査地点	30	30	30	28	令和元年度から市内28地点で調査を行っている(平成30年度までは市内30地点)。

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

毎年同時期に実施し、市内主要路線の交通量を継続的に把握している。

### 問題点・課題等

3年ごとに関係課で協議をし、地点の継続や実施方法について見直しを行っている。北上市統計調査員協議会に業務を委託しているが、会員の減少により、調査実施に支障が出てきている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

長年継続して実施しているため、継続的な統計データとして各種事業に活用されている。調査員の人手不足と高齢化により、委託先や実施方法の検討も必要である。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了